事業区分

平成29年度 事務事業評価シート

行政計画 長期総合 計画体系 根拠法令等 事業対象	事業NO. 一 [基本目標] [小 柱] [施 策] その他	計画	画事業名 (行	亍政計	画外事業)		市業の	指導課 の開始・終了年度		
根拠法令等事業対象	[施 策]									
事業対象	その他							年度 一年度		
±****	小·中学校児童	小・中学校児童生徒								
事業目的	児童・生徒の表現力や想像力の育成を図る。									
事業内容	2月中旬に東京都美術館で開催する展覧会で区立小・中学校の児童・生徒の作品を展示し、鑑賞の機会を設ける。									
委託の有無	一部委託		表 于		今担弘党 	3. 二田 D 作成				
制助金の有無	なし	なし		î						
種別	指標の名称		(単	単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
活動指標	参加校	((校)	26	26	2	6 26			
成果指標	作品展示数	((点)	4,000	4,000	4,00	4,000			
決算額 (単位)	位:千円)			<u> </u>		786	70	3 655		
±24±₩	L	人にかかるコスト(人件費など)				255	24	1 268		
	初になる					786				
(単位:千円	···									
財源項目		受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0) (
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0) (
		一般財源(区負担額) 1,041					94	924		
		なし								
	評価	評価の理由								
必要性評		各校だる。 児	各校が毎年積極的に参加しており、美術・図工・技術等で培った豊かな表現力を発表する貴重な機会である。児童、生徒の創造力、表現力を培うためにも本事業の必要性は高い。							
効率性	3	展示	展示に使用する消耗品は、繰り返し使用できる耐久性を考慮し購入しており、効率的であるといえる。							
視 手段の適切性		作品	作品を運搬作業手順や会場利用についても適切であるといえる。							
目的達成度	3	出展	出展数および参加学校数とも学びの成果発表に達している。							
	委託のの有無 活動種別 活動類指標 が表現りである。別は標準では、 が表現りでは、 がまままする。 がまままする。 が表現りでは、 がまままする。 がまままする。 がままままする。 がままままする。 がままままする。 がままままする。 がままままする。 がままままする。 がままままする。 がままままする。 がままままする。 がまままままます。 がまままままする。 がまままままする。 がまままままする。 がまままままます。 がまままままます。 がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	委託の有無 一部委託 部助金の有無 なし 種別 指標の参加校 活動指標 参加校 成果指標 作品展示数 中品展示数 大にかたであれる。 中間 大にかたであれる。 中間 大にかたであれる。 中間 大にかたであれる。 おいます 大にかたであれる。 おいます 大の他の総経費者のの他の関がある。 おいます なし、 おいます おいます おいます よいます おいます おいます おいます よいます おいます よいます おいます よいます おいます よいます おいます よいます おいます よいます おいます まず おいます おいます おいます まず おいます まず<	委託の有無 一部委託 部助金の有無 なし 種別 指標の名称 参加校 参加校 活動指標 作品展示数 中間に 大にかかるコストの他のコストの他のコスト総経費 財源項目 受益者負担額(その他特定財源(区域)の一般財源(区域)の一般財源(区域)のである。 財際項目 なしまする。 財際項目 なしまする。 が要性 3 本を表。。 表表を持ちる。 大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	 委託の有無 なし 種別 指標の名称 (達	 表託の有無	要託の有無	要託の有無	表話の有無		

児童・生徒の情操教育のために、日常の学びの成果を発表する機会である本事業は、今後も 継続していくことが望ましい。

評価結果

維持

拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了